

オモダカを始め、
SU抵抗性雑草、
難防除雑草に
優れた効果!!



オモダカ

農林水産省登録
第22121号

ピラクロ
ニル

ベンゾビ
シクロン

ベンゾ
フェナップ

3つのパワーで
雑草をシャットアウト!!

コナギ

ミズアオイ

クログワイ

クサネム

ホタルイ

ノビエ

ピラクロエース®

水稲用初・中期一発処理除草剤

ジャンボ 500g (50g×10パック入)
水溶性パック

ピラクロニル 3.6%・ベンゾビシクロン 4.0%・ベンゾフェナップ 14.5%

水稲用初・中期一発処理除草剤

ピラクロエース

ジャンボ 500g (50g×10パック入) 水溶性パック

特長

- 1 ノビエを始めコナギ等の広葉及びカヤツリグサ科など幅広い雑草に高い効果を示す。
- 2 SU抵抗性雑草に対しても、幅広く高い効果を示す。
- 3 特にオモダカに対して優れた抑制効果を示す。
- 4 効果の発現が非常に速い。
- 5 温度による効果の変動が少ない。

適用雑草の範囲及び使用方法

●有効成分(一般名)ピラクロニル:3.6% ベンゾピシクロン:4.0% ベンゾフェナップ:14.5%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、アオミドロ・藻類による表層は分離	移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	小包装(パック) 10個(500g) /10a	本剤:1回 ピラクロニル剤:2回以内 ベンゾピシクロン剤:2回以内	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる
直播水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヒルムシロ、ミスガヤツリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで		ベンゾフェナップ剤:2回以内	

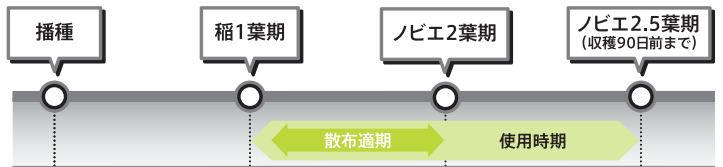
*本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

上手な使い方

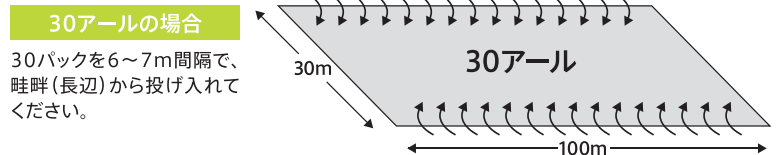
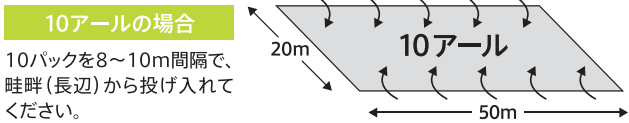
移植水稲の場合



直播水稲の場合



●10アール当たり10パック(500g)を投げ入れてください。※パックは下手投げで軽く投げてください(遠くへ投げる必要はありません)。



⚠ 使用上の注意事項

- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワでは2葉期まで、ヒルムシロでは発生期まで、オモダカ、クログワイでは発生始期まで、アオミドロ・藻類による表層は分離では発生前が本剤の散布適期です。また、クログワイは発生期間が長く、遅い発生のもめでは、十分効果を示さないもので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。オモダカは、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 小包装(パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるため使用を避けてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 下記のような条件では、初期の生育抑制やクロロシスを生じる恐れがあるので、使用を避けてください。特に、これらの条件が重なる場合は、初期生育が著しく抑制されるので注意してください。
 - ・異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - ・活着遅延を生じるような異常低温の時
 - ・砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)
 - ・軟弱な苗を移植した水田
 - ・極端な浅植または極端な深水になった水田
 - ・植え穴の戻りが悪い水田
- 苗の植付けが均一となるように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じる恐れがあるので使用しないでください。

- 著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下する恐れがあるので散布を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 空き袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

- 水溶性フィルムは吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化する恐れがあるので下積みにならないようにしてください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥子供の手の届かない場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。



全農 は登録商標 第4702318号



コールセンター: ☎0120-210-928 (9:00~12:00, 13:00~17:00) 土・日・祝日をのぞく